

地域のたから東西線編

沿線ぶらり散歩



第2回
八木山動物公園駅

仙台市博物館 学芸普及室長 菅野正道

八木山

東西線の最も西に位置している八木山動物公園駅周辺は、広大な住宅地が広がっています。今では、この一帯を「八木山」と呼ぶのは、ごく自然なことになっていますが、実はこの「八木山」は意外と新しい地名なのです。

ここが「八木山」と呼ばれるようになったのは、仙台の実業家であった八木久兵衛に由来しているのです。八木家は江戸時代から続く仙台の商家で、とくに明治時代に四代目久兵衛が大きく家業を発展させました。彼は仙台市会議員や仙台商業会議所会頭、貴族院議員を歴任したのです。



八木山の東端には、八木家が建てた神社をもとにして住民たちが昭和29年に建立した八木山神社がある

なったこの一帯の山林は、国に一時期没収されたことや、樹木の濫伐が行われたことなどから、荒廃が進んでいました。こうした状況を憂えた久兵衛は、この山林の総合開発を企図し、買取に着手します。その志は五代目久兵衛に引き継がれ、八木山橋の建設や向山に通じるアクセス道路の建設、公園整備や住宅地建設などの開発が進められました。

八木家ではこの公園を市民共有のものとして考え、仙台市に寄付しました。この公園には昭和四年（一九二九）完成の野球場があり、来日したアメリカ大リーグの選抜チームと日本チームの試合で、ホームラン王ベーブ・ルースがホームランを打ったことを記念し、ベーブ・ルースの銅像が建てられています。現在の八木山動物公園アフリカ園は、その野球場の跡地に作られたもので、よく見ると野球場の面影を確認することができます。

「御城林」から住宅地へ

江戸時代、藩が管轄する山林を「御林」と称していましたが、とくに八木山周辺を含む大年寺山から太白山にかけての山は、仙台城に続く山林ということで「御城林」と呼ばれ、特別な扱いがされていました。

通常、御林は公用の目的があれば藩の許可を得て樹木の伐採が可能でしたが、御城林はよほどのことがなければ伐採は許されず、ま

た立ち入りも厳しく制限されていました。江戸時代後期に村ごとに絵図を作った際も、御城林は測量が許されず、古い記録に基づいた推測で絵図が作られたのです。

一方で、御城林は藩主やその親族の遊覧の場所として使われました。とくに秋には藩主や側室、藩主の子女が紅葉狩りやマツタケなどのキノコ狩りに訪れる場所でした。また冬になると、鹿狩や鷹狩の狩場ともなりました。

御林には、その管理や、藩主が訪れた際の案内を役目とした山守と呼ばれる役人が村人から選出され配置されていました。御城林の場合、六人の山守が地域を分担して管轄していました。その山守の居住地に応じて管轄地も名称がつけられており、動物園付近は「越路山」、南八木山団地の周辺は「金剛沢」とも称されていたのです。

今ではすっかり開発され、ここでマツタケがたくさん採れたことなど、歴史のかなたに埋もれてしまいました。仙台的発展に大きな役割を果たした八木家の功績と共に、仙台の記憶として残しておきたいものです。



「仙台市史」完結
仙台市地下鉄東西線開業記念 企画展

せんだい再発見!

—こんなことわかりました。平成の『仙台市史』—

2月28日(日)まで好評開催中

【観覧料】常設展示料金でご覧いただけます。
一般・大学生:400円、高校生:200円、小・中学生:100円

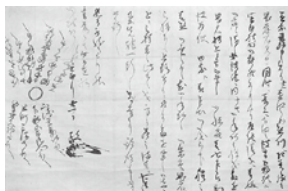
■主催:仙台市博物館 ■共催:仙台市史刊行委員会

領民を飢饉から救った
仙台藩の豪商も登場!



佐藤助右衛門坐像 個人蔵

—『仙台市史』の成果を語る実物、出しています。



伊達政宗書状 山崎玄蕃頭等十名宛 個人蔵

伊達政宗文書16点を一堂に展示!

関連行事

◆講座「こんなことわかりました。仙台市史」

市史編さん事業の成果をテーマ別に紹介
会場:仙台市博物館ホール/定員:200名
申込不要、聴講無料

●2月13日(土)13:00~15:30

①自然編「仙台の地形」

②考古編「近世の陶磁器」

講師:①東北学院大学教授 松本秀明氏

②仙台市文化財課 佐藤 洋氏

◆コーナートーク(約30分)

展示会場での元市史編さん室職員の展示解説

申込不要、常設展観覧料が必要

●2月 5日(金)11:00~「近世の絵図、ほか」

13:00~「近代の公文書」

●2月19日(金)11:00~「伊達政宗文書」

13:00~「能 舞台上」

仙台市博物館
SENDAI CITY MUSEUM

開館時間:午前9時~午後4時45分(最終入館午後4時15分) ●2月の休館日:毎週月曜日、2/12(金)

TEL:022-225-3074

〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/>